

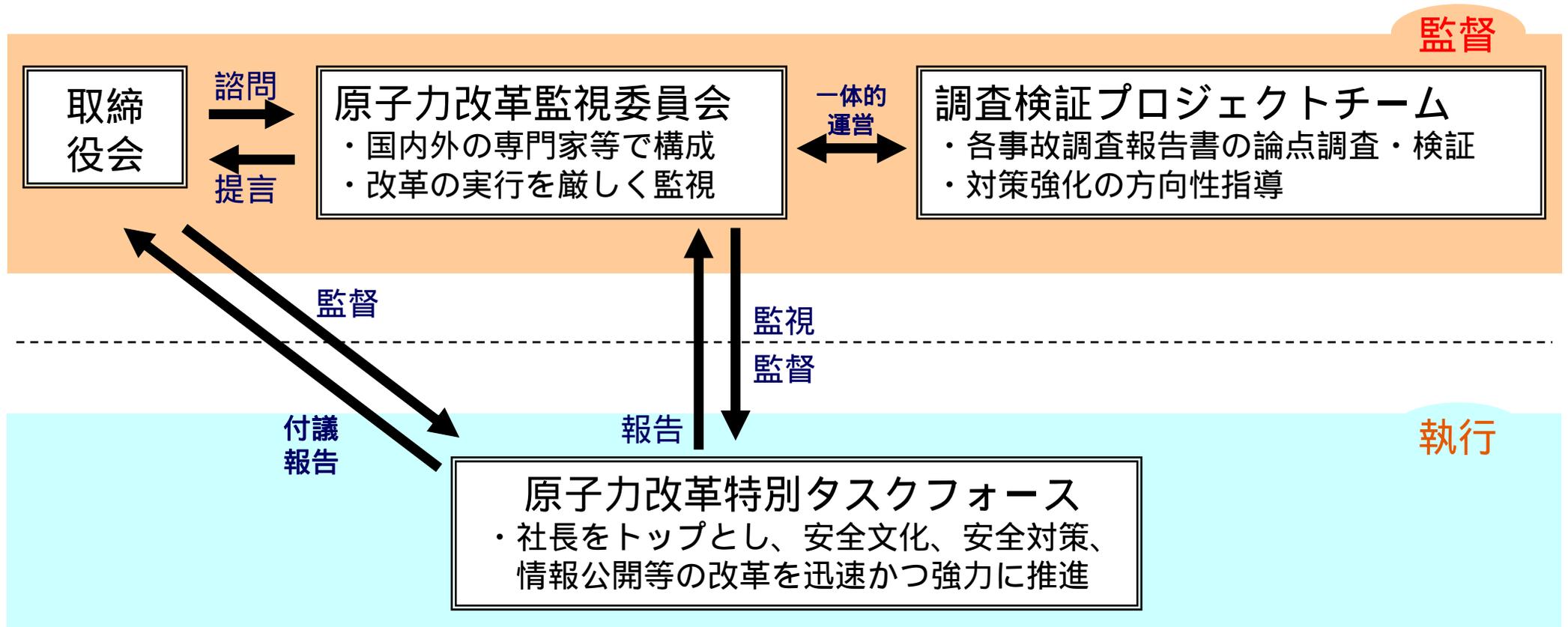
原子力改革の進め方について

平成24年12月14日



東京電力

原子力改革の新体制について



それぞれの委員会について（1/3）

原子力改革監視委員会（初会合は10月12日に開催）

■役割

- 当社の原子力改革の取り組みについて、国内外の専門家・有識者が外部の視点で監視・監督し、その結果を取締役会に報告・提言すること

■メンバー

- デール・クライン氏（元米国原子力規制委員会（NRC）委員長）
- 大前 研一氏（（株）ビジネス・ブレークスルー代表取締役社長）
- 櫻井 正史氏（元国会事故調委員 元名古屋高等検察庁検事長）
- バーバラ・ジャッジ氏（英原子力公社(UKAEA) 名誉会長）
- 下河邊 和彦（元弁護士 東電会長）

それぞれの委員会について（2 / 3）

調査検証プロジェクトチーム

■役割

- 原子力改革監視委員会と一体で運用する。
- 各原子力事故調査報告書の主要論点をふまえ、必要な調査・検証を行うとともに、課題と対策の方向性の整理を行い、その結果を取締役会に報告・提言すること

■メンバー（その他のメンバについて）

- 櫻井 正史氏（元国会事故調委員 元名古屋高等検察庁検事長）

対策強化の方向性を策定する上で必要な調査・検証のテーマに応じて、櫻井氏が有識者を招集する予定となっている。

それぞれの委員会について（3 / 3）

原子力改革特別タスクフォース

■設置目的

- 世界最高水準の安全意識と技術的能力、社会との対話能力を有する原子力発電所運営組織の実現に向けて、安全文化、安全対策、防災、リスク・危機管理、情報公開・リスクコミュニケーション等の改革を迅速かつ強力に実行すること

■メンバー

- タスクフォース長 廣瀬 直己（東京電力 社長）
- タスクフォース長代理 相澤 善吾（同上 原子力・立地本部長）
- タスクフォース事務局長 姉川 尚史（同上 原子力設備管理部長）

- タスクフォース事務局には、約30名の本店・発電所の職員（原子力以外の部門出身者を含む）が発令されている。